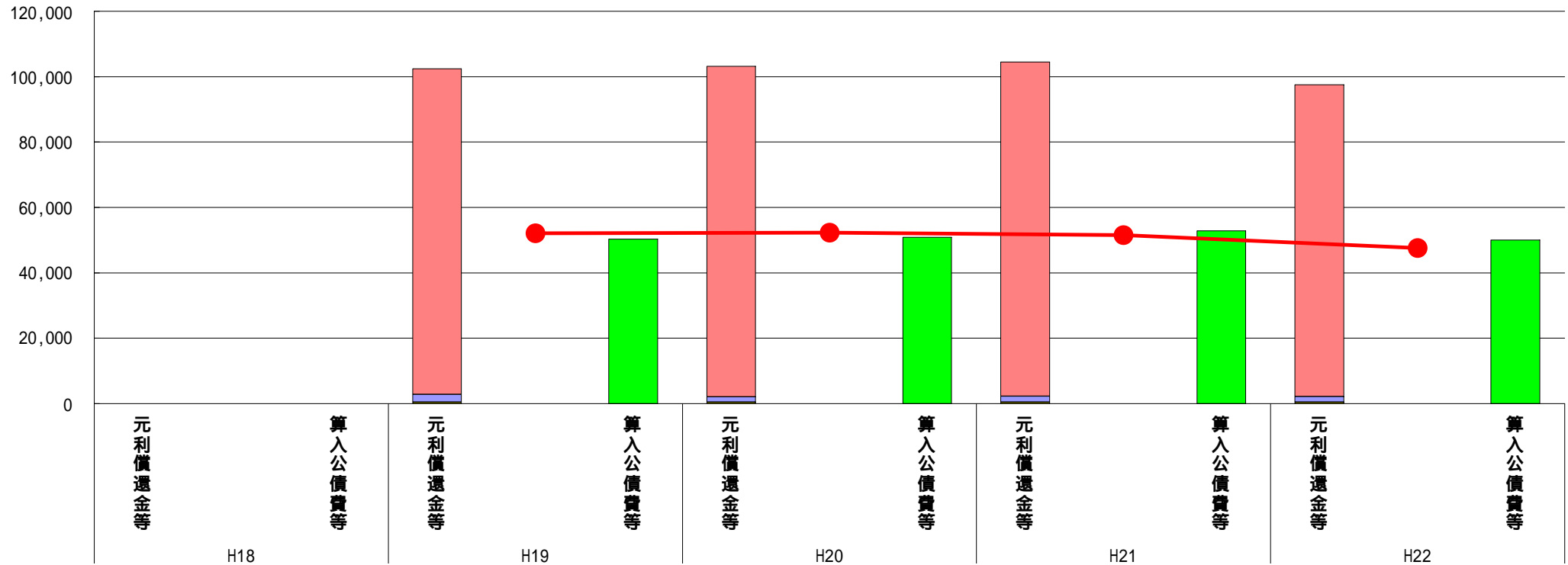


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成22年度

愛媛県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等(A)	元利償還金	-	99,658	101,130	102,179	95,399	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	2,293	1,593	1,806	1,710	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-	-	
	債務負担行為に基づく支出額	-	508	450	457	458	
	一時借入金利息	-	0	0	-	-	
算入公債費等(B)	算入公債費等	-	50,328	50,888	52,861	49,994	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	52,131	52,285	51,581	47,573	

分析欄
 過去の景気対策等に伴い発行した地方債の元利償還がピークを越えたことから、元利償還は減少してきている。
 今後も、交付税措置のある地方債の優先活用、償還期間の弾力的な運用などによる公債費平準化に努める。

平成17年度と平成18年度において、元利償還金とは充当可能特定財源の額を控除した後の額であり、満期一括償還地方債に係る年度割相当額とは積立不足額考慮算定額を含んだ額である。